



県高校体育大会で優勝 西高ボート部員がインターハイ出場を報告



激励金を受け取る星泰輝さんと小澤彩希さん

7月22日、西会津高校2年の星泰輝さんと小澤彩希さんが町役場を訪れ、ボート競技での令和元年度全国高等学校総合体育大会への出場を工藤副町長と江添教育長に報告し、大会での活躍を誓いました。星さんと小澤さんは6月に行われた県高校体育大会でそれぞれ優勝を飾り、8月17日から熊本県で行われるインターハイのボート競技シングルスカル(1人乗り)への出場を決めました。

最新鋭の消防用ポンプ 第3分団第2部下野尻班(端村)へ 消防小型動力ポンプの引き渡し式を行う



薄町長より引き渡しを受ける長谷川克美団長

消防用小型動力ポンプの引き渡し式が8月5日、町役場駐車場で行われました。式では薄町長が「地域のさらなる消防力の強化につながることを期待します。これからも町民の安心安全のためにご尽力をお願いします」とあいさつし、第3分団へポンプ1台が引き渡されました。

今回配備されたポンプ(写真右)は、従来のものに比べ燃費が良く、排気ガスや騒音、振動が少ない最新鋭のポンプです。



あいづローイングスポーツ少年団に所属 西中生がボート競技全国大会への出場を報告

西会津中の渡部愛美さん(3年・黒沢)と岩原茉佑さん(1年・7町内)が「第39回全日本中学選手権競漕大会」への出場を決め、7月17日、所属するあいづローイングスポーツ少年団の眞部宏伊監督と町役場を訪れ、大会出場を報告しました。報告を受けた江添教育長から激励金が手渡され、エールが送られました。大会は7月19日から岐阜県で行われ、渡部さん、岩原さんともに予選3位と健闘しましたが、惜しくも決勝進出とはなりません。今後のさらなる活躍が期待されます。



岩原茉佑さん(左)と渡部愛美さん(右)

令和元年度西会津町戦没者追悼式 戦没者を追悼し 恒久平和を誓う

7月30日、町公民館で西会津町戦没者追悼式が行われました。式では全員で黙とうを捧げた後、薄町長が式辞を述べ、清野佐一町会議長や耶麻遺族連合会長らが追悼の辞を述べました。その後、西会津町遺族会を代表し、小柴敬さんが「戦没者の尊い命と犠牲の上に現在の我々の生活が成り立っていることを後世に伝えていくことが、我々遺族の使命です」と追悼の辞を述べ、平和への誓いを新たにしていました。最後は参加者全員で献花を行い、戦没者の安らかな眠りを祈りました。



追悼の辞を述べる小柴敬さん

ご寄付ありがとうございます 桃山会がチャリティーショーの益金を寄付

8月7日、桃山会普門連合会の生江克志さんと青木照夫さんが町役場を訪れ、7月23日に開催した桃山会民謡カラオケチャリティーショーの益金の一部を寄付しました。生江さんと青木さんは「町の社会福祉をより一層充実させるために活用してください」と町社会福祉協議会の会長を務める薄町長に寄付金を手渡しました。



寄付を手渡す生江さん(中央)と青木さん(右)

今年で4年目 小中学校や町の英会話教室で英語の指導を行う ローレンさんを外国語指導助手に再任

町では7月22日、令和元年度外国語指導助手辞令交付式を行い、ウィザースプーン・ローレンさんを外国語指導助手に再任しました。ローレンさんは平成28年8月の着任以来、小・中学校やこゆりこども園で英語指導を行うほか、町民の皆さんを対象とした英会話教室でも精力的に英語の指導に取り組んでいます。任期は令和元年7月25日から令和2年7月24日までです。



薄町長より辞令を受け取るローレンさん

町長コラム その10



本年2～3月にかけて、農林水産省が進めるICT(情報通信技術)を使って、新規就農者や担い手農家、移住者等が農村に定住しやすい地域づくりを進めるため、そのモデルとする全国で13地区を選定する公募があった。町は全国にPRする絶好の機会になると応募し、東北で本町と山形県鶴岡市が選定された。

先日、本事業を推進するための「西会津地域活性化協議会」が開催され、3年間の事業計画が承認された。その内容は、若い担い手や高齢者等が西会津町に住み続けられるようICT(情報通信技術)を活用し、①タブレットを使った遠隔学習による教育支援、②働き盛りの若者の健康づくり、③認知症高齢者等の見守りサービス、④農林産物等集荷及び買

い物弱者の支援、⑤有害鳥獣被害対策のため、カメラとセンサーによるイノシシの生態状況把握と被害防止など5つのプロジェクトを実施することになった。

本事業の実施に当たって、東北農政局及び会津大学のアドバイスと地域の皆さんと十分な話し合いを重ねながら、全国のモデルとなるよう総力をあげて取り組んでいくことにした。

本事業を通して、又、活気ある町を取り戻すための諸課題を解決するためには国・県の支援が不可欠であるので、良好な関係の構築に努力していくこととしたい。

西会津町長 薄 友喜